

みずほCustomer Desk Report 2020/06/26号 (As of 2020/06/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.05
TKY 9:00AM	107.03	1.1251	120.41	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.45	1.1260	120.61	1.2411	0.6857
SYD-NY Low	107.02	1.1191	120.15	1.2464	0.6893
NY 5:00 PM	107.20	1.1217	120.30	1.2390	0.6849
				1.2424	0.6887
NY DOW	25,745.60	299.66	日本2年債	-0.150	0.00bp
NASDAQ	10,017.00	107.84	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	3,083.76	33.43	米国2年債	0.187	0.00bp
日経平均	22,259.79	▲ 274.53	米国5年債	0.330	1.17bp
TOPIX	1,561.85	▲ 18.65	米国10年債	0.681	0.32bp
シカゴ日経先物	22,500.00	215.00	独10年債	-0.4675	▲ 2.65bp
ロンドンFT	6,147.14	23.45	英10年債	0.1530	▲ 3.40bp
DAX	12,177.87	83.93	豪10年債	0.8850	▲ 3.70bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	5.83	▲ 0.33%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.55	▲ 0.18%
NY金	1,770.60	▲ 4.50	USDJPY 6M Vol	7.53	▲ 0.05%
WTI	38.72	0.71	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	135.37	0.12	EURJPY 3M Vol	8.30	▲ 0.13%
ドルインデックス	97.43	0.28	EURJPY 6M Vol	8.80	▲ 0.04%

東京	東京時間のドル円は107.03レベルでオープン。前日の海外市場でのドル買いの流れを引き継ぎドル円は終日底堅く推移した。一時107.25と約一週間ぶりの高値を付け、その後はもみあう展開。結局107.15レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.15レベルでオープン。アジア時間の終盤でドルが買われた流れを引き継ぎ、上値重いながらも上昇し、107.43レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2407レベルでオープンし、朝8時あたりにポンド買いが優勢となり、1.2464まで上昇したが、すぐ反落。その後、1.2430付近を挟んで売り買いが交錯し、結局1.2417レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	ドル円は107.43レベルでNYオープン。朝方は経済指標の発表が多く、米5月耐久財受注は予想以上の増加、米第一四半期GDP確報値は第二次速報から据え置き、米失業保険の新規申請件数は予想を上回るも、継続受給者数は予想を下回った。特段のサプライズなかったことや、その後「米当局、ホルカーの緩和承認」とのヘッドラインが伝わり、銀行株主導で米株が上昇したことから、リスクオフの流れが一服しドル買いが巻き戻され、107.14まで下落。午後は安値107.12をつける場面もあったが、107.20近辺でもみ合いが続く。終盤にかけて米株が上げ幅を縮小するも、ドル円の反応は限定的で、そのまま107.20レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.1250近辺で上値重く推移。ECBの新レバファイナンスに関する報道が発表された直後は、欧州株が上昇したことからユーロも買いで反応するも、ユーロ売りが加速すると1.1193をつけ、1.1197レベルでNYオープン。朝方は安値1.1191をつけるも、米経済指標発表後はドル買いが一巡し、1.1231まで戻す。午後は手掛かり材料が乏しい中、1.1220近辺で方向感無く推移し、結局、1.1217レベルでクローズ。本日はフロリダ州の感染拡大ペースが昨日に続いて加速しているほか、テキサス州で経済活動再開の次のフェーズへの移行が一時停止されることが報じられるも、ドル円やユーロドルへの影響は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

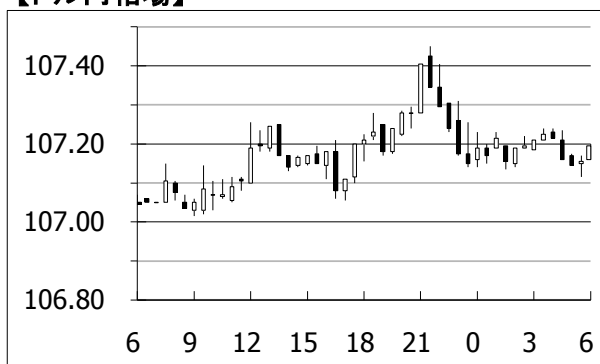
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月25日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月 -1.2%	0.4%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・速報	5月 15.8%/4.0%	10.5%/2.1%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)・確報	1Q -5.0%	-5.0%
	21:30	米 個人消費・確報	1Q -6.8%	-6.8%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・確報	1Q 1.7%	1.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 1480k	1320k
	22:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	「米景気回復は新型コロナへの医療対応が鍵に」「ユーロ圏経済、22年末までコロナ前に回復せず」「追加緩和の必要性、見極めに時間かかる」	
	23:30	欧 クノット・オランダ中銀総裁 講演		
6月26日	00:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演		

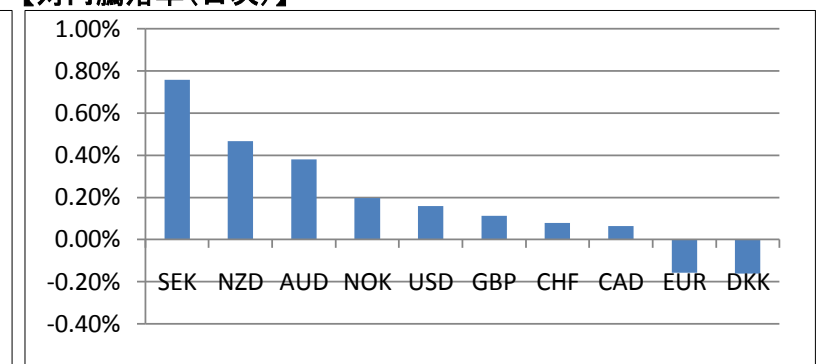
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月26日	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	5月 -6.0%/9.2%	10.5%/-13.6%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.0%/0.9%	-0.4%/1.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	6月 79.2	78.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 有事のドル買いと需給面からの円高リスク

VIX指数が未だ30を上回るなど、変動の大きい株式市場に対して、ドル円相場は4月以降、概ね106円から109円の狭いレンジ内での推移が継続。新型コロナウイルスの感染拡大第2波への懸念と経済活動再開への期待で市場が揺れ動く中、ドル円相場はドルと円が同じ方向に動くことが多く、なかなか方向感が出づらくなっている。

コロナの影響はドル円ではわかりづらいが、ドル指数(DXY)で見ると一定の傾向が見て取れる。世界全体のコロナ感染者数変化幅とドル指数を重ね合わせてみると、感染者数が急拡大した3月中旬から下旬にかけて、ドル指数は95から103付近まで急上昇。4月以降は、1日の感染者増加数が7~8万人程度で落ち着きを見せると、ドル指数も99~100で横ばい推移。5月に入っても感染者の顕著な増加は見られず、一方でロックダウン解除に伴う経済活動再開期待とリスクオン姿勢が強まると、ドル指数は100→96付近まで下落した。しかしながら、新興国や第2波ともされる米国などでの感染再拡大により、6月に入って1日の感染者数が連日15万人前後と過去最高を更新すると、ドル指数も下げ止まっている。

コロナとの闘いは長期戦が予想され、感染再拡大や経済活動制約の懸念が消えないなかでは、基軸通貨で世界最大の経済規模を持つ米国のドルに対する需要は強いと思われ、ドル指数、ドル円ともに、もうしばらく底堅い推移となりそうだ。

一方、有事のドル買いが一服すれば、ドル円は円高ドル安に振れるリスクが警戒される。米FRBのゼロ金利政策で米長期金利が0%台半ばに留まり投資妙味が以前より薄れるなか、今週発表された日本の4月対外証券投資統計では、米国債など米国ソブリン債の売り越し額が過去最大の5兆円まで膨らんだ。また先週UNCTAD(国連貿易開発会議)は、世界全体で今年の海外直接投資が、最大で前年比40%減る予測を発表。対外直投による円売りはしばらく出づらいつつ、コロナ収束まで時間がかかる場合、還流による円買いが今後増える可能性も。需給面から、ドル円は下落リスクに警戒したい。(山岸)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14